

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102245
法人名	石井オアシス・ケアサービス（有限会社）
事業所名	グループホームおあしす
所在地	松山市北久米町1004-7
自己評価作成日	H22年10月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年10月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入所の方個々のリズムで日々穏やかに過ごされる様支援出来る様一定の時間に決めつけない様努めています。
ご家族との連絡を密に取りながら、施設へ訪問しやすい環境づくりに努めています。
1ユニットならではの、ゆったりとした時間の流れの中入所者とスタッフの会話の時間が持っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●玄関、食卓テーブルや洗面所には、職員が自宅の庭から摘んで来られた花が生けてあり、ところどころに観葉植物を配しておられる。昼食後にはソファでくつろぎテレビを見ておられる方や自室で休まれる方、利用者が卓上の「電子オルガン」を弾いて楽しんでいる方もみられた。窓から外を歩く人の様子をみられたり、手すりを使って職員と起立の練習をされている方の様子もあった。
●テレビや職員が体験したこと等を話題にして、利用者個々の意見や意向を引き出すきっかけを作っておられたり、又、利用者をご家族と話している会話の中からも、思いや意向を汲み取れるよう努めておられる。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 石井オアシス・ケアサービス有限会社

(ユニット名) グループホーム おあしす

記入者(管理者)

氏 名 藤岡 まゆみ

評価完了日 22 年 10 月 2 日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
Ⅰ.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「尊厳・優しさ・笑顔」の理念の下お1人々が「家がいいがここでもいいかな。」と感じて頂ける様日々様子を観察しスタッフ同士が、個々の様子を報告しながら支援しています。	
			(外部評価) 「尊敬、優しさ、笑顔」を基本理念に揚げて、利用者の立場に立ち「安心して穏やかに過ごしていただく」「家庭的な空間で過ごしていただく」ことに向け、取り組みをすすめておられる。毎月の職員ミーティングで理念を話題にしながら話合われている。この機会をさらに、地域密着型サービス事業所として所在地域の中でどのようなことに取り組んでいくのか、ということについて話し合う機会にされてはどうか。事業所が目指すことについて地域やご家族にも示していかれてほしい。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 運営推進会議により、ホームで手伝える事への参加に努め地域の方々と接する時間を持つ様にする事で少しずつですが、地域の行事の声掛けを頂いたりでき、日々挨拶を忘れない様努めています。	
			(外部評価) 散歩時、近所の方にあいさつされている。今年度、近くの高等学校の生徒が介護実習に来られて、実習後には、メッセージを書いてくださり居室に貼っている利用者もあった。運営推進会議に参加して下さっている近所の方から花の苗をいただき、利用者と一緒に植え世話をされており「玄関周りの感じがよかったね」と言ってもらったようである。	管理者は「もっと地域の方にホームに来ていただきたい」と考えておられた。又、職員も「もっと、近所の方と日常的な近所付き合いをしていきたい」と話されており、事業所では今後「事業所の行事に、地域の方にも案内をする」ことを考えておられた。取り組みを重ねられて地域とおつきあいを深め、さらには、いざという時、協力し合えるような体制作りにも取り組みをすすめていかれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 久米包括が中心となり、地域の方々へ認知症への理解・支援の方法を聞いて頂ける場を持つ様にしています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 参加して頂いた方の意見により、花壇の手入れに目を向ける事ができ、今では「今度また違う花の種を貰って来てあげるね。」他土についてや手入れについて色々話して頂ける様になりました。消防においても最終的の守るのは施設のスタッフだという意見を頂き、どこかで人に頼ろうとしていた面を反省させて頂きました。	
			(外部評価) 会議時、行事や外部評価結果、防災訓練等について報告されたり、民生委員の方からは、地域の高齢者の実状の事例を聞かせていただいた。町内会長から地域の防災訓練が実施されることを教えていただき、利用者と職員で参加して地域の方とともに訓練が行われた。民生委員の方から教えていただいた集会所での「講習会」に職員が参加された。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
			(外部評価) 運営推進会議時に、市の担当者の方から介護保険のことや利用者が行方不明になった時の捜索方法等について話していただいた。生活保護受給者の生活や健康管理等について相談しながら支援をすすめておられる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 本当に必要なのか、拘束をする前にためしてみる事は無いか等話し合いの結果、現在お1人のみベット柵（夜間のみ）使用のみとなりました。	
			(外部評価) 玄関の扉は網戸にされており、中から外の様子がよく見えるようになっていた。利用者の状態により、現在、居室の掃き出し窓をロックされたり、夜間時にベッド柵をすることもあるようだ。	今後は「柵を使用する時間を短くしていけるような支援についても考えていきたい」と管理者は話しておられた。この機会を活かして、身体拘束についての理解をすすめられて、グループホームの特徴や事業所の理念に沿って、拘束をしなくても済むようなケアが実践できるよう職員で話し合いながら工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 身体的な物だけが虐待ではなく、一番身近で気をつけるべきは言葉の暴力と言う事を随時心に刻んで頂き、支援させて頂いています。相手を敬い・思いやりを持ち接しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 日常時利用支援に関しては、ほぼ理解は出来ていますが、成年後見制度に関しては、まだ理解出来ない人もおります。ご利用者、ご家族から相談があれば援助出来る流れはとれております。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時の説明だけでなく、随時分からない事や疑問に思われている事は聞いて頂ける様来設時毎お声掛けはさせて頂き、随時説明をさせて頂いています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 全職員が把握出来る様、連絡ノートに利用者、家族の「思い」「意見」随時変更や必要事項を記載し小さな出来ごとや意向を確認しながら援助しています。	
			(外部評価) この一年間では、管理者や職員の法人内異動もあったが、ご家族の来訪時等に自己紹介をされたり、お話をする等、関係作りに努めておられる。ご家族から聞き取った情報は「申し送りノート」に記録して、職員全員で共有する仕組みになっている。	管理者は「3～4ヶ月に1度くらい、家族会等を開催して家族同士で話し合う機会を作りたい」と話しておられた。さらに、運営推進会議や事業所の質を高めるような取り組みについてご家族に報告してご意見をうかがったり、又、日々の食事や入浴、外出等の支援の様子や工夫について、ご家族に報告して、ご家族が気になることや気付いたことをより具体的に引き出していかれてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			4月にセンター長を交え意見を聞き、対応しており、日々スタッフから質問等あれば確認し反映出来る様努めています。	
			(外部評価)	
			毎月の職員ミーティング時に、行事やケア等について管理者と職員で意見や提案を出し合って話し合われている。12月のクリスマス会の催しは「利用者と職員一緒にできること」を行いたいと思案されていた。地域の他事業所の「夏祭り」の行事に誘っていただき、今後、事業所で行っている「いも炊き」の他に「夏祭り」等を開催して地域の方等も招きたいと考えておられた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			毎月のミーティング、相談等により随時意見や意向を経営会議で報告、相談しています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修会への参加、他のグループホームとの交換研修施設で介助者の負担軽減となる介助方法等行っています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地域包括での勉強会・近隣のグループホームとの交流他研修会への参加を促し、第三者の意見を聞き学んでほしいと随時話しを持ち、除々に参加して貰える様になっています。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			話し易い環境である様気を付けながら、随時問いかけや相談を傾聴し援助出来る様努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前の訪問から安心して頂ける様、話し易い環境に 努め来設時には、必ず困っている事や気になっている 事等お聞きする様にしています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) グループホームのサービスについて理解して頂き、 ご利用者・ご家族が必要とする援助が出来る様支援 すると共に状態により、ホームでの生活外のサービス 対応も可能である事をお話ししています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) いつも笑顔を忘れず、話し易い環境を提供し、会話を 多くとりおあしすの家族として援助させて頂いていま す。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が来訪して頂く時の笑顔に勝るものは無く、 ご家族は来訪し易い環境を提供しながら、自分達が 出来る援助を行っています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) ご家族同様来訪し易い環境を提供出来る様努めて います。 (外部評価) ご家族や友人の来訪時には、居室でゆっくり過ごして もらえるように声をかけておられる。事業所へ定期的 に来てくださる訪問理容の方と顔馴染みになり、ホー ムで散髪するようになった利用者もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ご利用者の中にも、相性が合わなかったり・きつい言葉を投げかけたり、掛けられたり等トラブルがありますが互いが傷付かない様スタッフが間に入ったり、話しをしてみたり、席を工夫したりする事で安定して頂く様努めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後の様子をご家族へ電話でお聞きしたり、入院・入所された施設へ訪問させて頂いています。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々個々との話す時間を持ち、訴えを傾聴し思いを把握し支援出来る様努めています。言葉で表現出来ない方には、表情や日々の状態からスタッフが話し合い思いを尊重出来る様努めています。	
			(外部評価) テレビや職員が体験したこと等を話題にして、利用者個々の意見や意向を引き出すきっかけを作っておられたり、又、利用者がご家族と話している会話の中からも、思いや意向を汲み取れるよう努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日常生活の中会話を通して昔の話しが聞けたり、それについてご家族訪設時状況をお聞きしたりしたりし、スタッフ内で把握する様に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の状態の観察、表情、口調等により様子を見、安定した状態で過ごして頂ける様努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価)	
			ミーティング等により記録の書き方や、家族の気持ち など意見の交流を図り皆が分かり易く、その方にとっ てよい援助が出来る様努め作成出来る様現在検討中 です。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(外部評価)	
			介護計画は、毎月の職員ミーティング時にモニタリン グを行い、3ヵ月で見直しをされている。ご家族の来訪 時や電話で状況を報告されたり、要望を聞き取って計 画に採り入れるようにされている。管理者は今後「現 在用いている「支援経過票」に、計画に沿ったケアが 行えるようケアプランや評価を記入する欄を設けた い」と考えておられた。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化 本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	(自己評価)	
			ご本人にとってより良い環境が提供出来る様、 日々スタッフ同士意見交換を行っている。 お1人お1人をとても大切に思っていると感じられ る。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価)	
			訪問して頂ける美容師・介護タクシー・近くへ買い物 本人が出来る事をお願いして手伝って頂いたりしてい る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 協力医療機関に週6回往診して貰い24時間医療連携 体制により、ご利用者に安心した医療対応をおこなっ ている。またご利用者が以前よりかかっている先生が 往診協力頂けるのであれば、状態も把握しご本人も安 心される為一ヶ所のための病院と決めつけず本人・ご家 族の意向にあった援助に取り組んでいる。	
			(外部評価) 入居時には、事業所の医療連携体制について説明し て、ほとんどの利用者が協力医療機関で診てもらうこ とに決めておられる。協力医療機関の医師が日曜日以 外、毎日往診に来てくださり、ご家族がご本人の状態 を聞きたいような時には、往診の時間に合わせて来訪 されている。訪問歯科医の「口腔検診」を受けて、そ の後、治療を開始された方もある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 往診に来て頂く先生が細かく相談に乗って下さり、 先生との情報交換により看護師の協力を得る流れが 多い。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 状況によりご家族との連絡・地域医療連携室への相談 入院時ご本人の援助状態が把握し易い書類作成の検討 に努めています。病院関係者（入院対応可能）との 関係作りは出来ていません。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 看取りの指針を作成し、ご利用者、ご家族に説明し、 かかりつけ医師と日々援助方法について話し合いを 持たせて頂いています。	
			(外部評価) 入居時に事業所の「看取りに関する指針」を説明し て、ご家族や利用者の意向を確認されている。調査訪 問時、終末期を過ごされている方があり、ご家族が来 られて、傍らで付き添っておられる様子がうかがえ た。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ミーティングを利用し、個々ご利用者の状態を相談、援助についての話し合いは、持てているが定期的実践の場はまだ確立出来ていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進委員会を通し協力を得ており、適時消防署協力の下火災・地震に備えた指導を受けている。 (外部評価) 年2回避難訓練を行っておられる。消防署の指導を受け、歩いて避難できない方は、出入り口に近い居室に移ってもらった。居間から外に出やすいようにスロープが設置されている。又、歩行可能な方の居室の掃き出し窓からでも避難できるよう「ステップ階段」を設置されていた。運推推進会議時に、地域の協力をお願いされ、近所の方からは自主防災の大切さについてアドバイスをいただいた。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 年長者への尊厳を損なわない様に言動、対応に日々気を付けている。個人情報の取り扱いについても重要性をスタッフ全員が理解している。 (外部評価) 管理者は職員に「自分にされていやなことは利用者にもしない」ことを話しておられる。ご家族の面会簿は、プライバシーに配慮してノートでなく、一枚の用紙に書いてもらうようにされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の意向を重視した上で、危険性のあるものや援助としてご本人にとって逆に悪循環になる時は、じっくりお話を聞いたり、違う流れを作り良い流れでの自己決定が出来る様援助している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の会話の中や様子により可能な限り希望に添う様にしているが、ずっと室内で横になる状態等に関しては声掛けにより、違う流れを促す事もある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に美容院の方の訪問により皆さん明るくなっている。服も自分で選べる方は選ばれており、選べない方にも声掛けながら決めている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 身体的状態により、協力内容は多くないが出来る事は一緒にして頂いたり、今日のおかずの相談をしたりしている。食後の下膳は出来る方が出来ない方の分も片付けの協力をしている。 (外部評価) その日の献立は、職員が利用者と相談しながら決めるようにされているが、利用者から希望を言われることは少ないようである。食事前に「パタカラ体操」（口腔体操）を行うことを続けておられる。遅出の職員が食事介助をされ、他の職員は台所で食事をされており、職員の休憩時間となっている。利用者はそれぞれにマイペースで食事をされ、下膳をされる利用者の様子がうかがえた。利用者は時に野菜の下ごしらえ等をすることもある。	利用者個々が「食事を楽しむ」ことについて工夫できることはないか職員で話し合ってみてはどうだろうか。おいしい食事をさらに楽しむことができるような支援に向けて、グループホーム特性を活かして、利用者個々の好みや意向を探り、雰囲気作りや介助等、職員のかかわり方についても配慮や工夫を重ねていかれてほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の食事量に合わせ、水分摂取量の確認、むせなくしっかり咀嚼出来る食事を提供出来ているか、毎回食事状態の観察に努めている。ひと口切りや刻み菜とご本人にあった物の提供を心がけてる。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々により、見守りのみ・一部介助・ほぼ全介助にて口腔ケアに努めている。口腔健診も予定しており訴えの出来ない状態で痛みがある事のない様協力をお願いし、今後もしっかり食事が出来る状態が維持出来る様努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			日中は随時トイレでの排泄とし、個々の排泄状態を把握し一日1回でも不快なくトイレで排泄出来る様援助している。あまりトイレに行こうとされない方には失礼のない様声掛けしトイレ誘導としている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導をされたり、声かけをしてトイレで排泄できるよう支援されている。下着の上げ下ろしが困難な方には「お手伝いしますね」と声をかけて介助されたり、居室内で、たびたび放尿されていた方があったが、職員は、気長にトイレに誘い、放尿の回数が減ったような方もいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			ご本人の希望の時間での援助は難しいが、状況により午前や午後に変更し入浴出来る様援助している。本人のペースで気持ちよく入浴出来る様介助している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			午後、レクリエーションや散歩を楽しむために、現在は午前中に入浴することになっている。シャワー椅子に座って、できるだけ自分で体を洗ってもらえるよう声をかけ、そのあと、職員がサポートされている。皮膚の弱い方がおられ「泡たてネット」を使って手で洗っている方もある。脱衣所のエアコンで室温調節をされている。	
46			(自己評価)	
			利用者のペースで休息出来る様、個々の時間で昼寝をしている。夜間自分で体交が出来ない方、発汗され易い方には随時体交し負担の軽減や気持ちよい状態で眠られる様気をつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 各薬の説明書をスタッフがいつも見れる状態をとり、把握出来る様努めている。ご利用者の状態により心配な事がある時は、随時早めに主治医へ相談、対応援助を受けている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) レクリエーションの時間を使い、個々が興味のある事を皆でしている。最近ビールの好きなご利用者にアルコール0だが、ビールを提供しとてもいい表情をされ食事を楽しまれた様子あり、週1回程度家族と外出が無い日のビールを楽しんで頂く事になった。(家族も同意の上)	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ご家族の協力により、外出での気分転換が出来ている方ばかりではないので、天気の良い日はスタッフと1対1で散歩に出かけている。今年の夏は異常に暑く思う様に外に出る機会が少なかったもので、これからの季節は、屋外へ出る機会を持って行きたいと考えている。 (外部評価) お天気の良い日には、午後に職員と近くを散歩される方もある。ご家族と一緒にデパートへ出かけ食事をしたり買い物を楽しまれる方もある。ご家族と一緒に好きな歌手のコンサートに出かける方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご利用者自身が管理することは難しく、ホームで管理し買い物に行った時にご自分で支払いが出来る様支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) いつでも外部との連絡が取れる様にしている。介護度の軽度の方は、電話を利用したり、手紙のやり取りが出来る様援助したり、希望により電話をかけ家族との会話を楽しんで頂く。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			清潔に努め、季節ごとにスタッフと御利用での絵を作り飾って目を楽しませている。随時温度調節には注意している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			玄関、食卓テーブルや洗面所には、職員が自宅の庭から摘んで来られた花が生けてあり、ところどころに観葉植物を配しておられる。昼食後にはソファでくつろぎテレビを見ておられる方や自室で休まれる方、利用者が卓上の「電子オルガン」を弾いて楽しまれている方もみられた。窓から外を歩く人の様子をみられたり、手すりを使って職員と起立の練習をされている方の様子もあった。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			本人の使いやすい様、意見を聞きながらベット等配置し自分の使いやすい様にして貰っている。 家族へもお願いして、写真や本人が気になっていたものなど持ってきて頂く様協力願っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			居室のテレビでお好きなテレビを見たり、猫のぬいぐるみに「みーちゃん」と名付けてベッドに置いて、可愛がり毎日一緒に寝る方もあった。ご家族の写真やご自分で塗り絵を塗ったカレンダーを飾っておられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			日中皆さん自由に、時間を使われている中で洗面所の掃除をされたり、少ししんどいけどトイレまで自力で行かれたり、出来ない方を助けてあげたりと自然にご利用者が出来る事見つけられる様すぐに援助するのではなく見守り、声掛けに努め出来ない面での援助をさせて頂いている。	